

年齢別にみる配偶関係 — 国勢調査でわかること（その5） —

国勢調査の調査項目の中には「配偶者の有無」という項目があり、「未婚」「有配偶」「死別」「離別」の4区分の中から回答します。未婚率や晩婚化など、配偶関係に関する統計は多くの人が関心を寄せるものとなっています。

「国勢調査でわかること」を5回シリーズで紹介してきましたが、最終回は国勢調査からわかる配偶関係について、京都市における結果を取り上げます。

1 配偶関係の推移

表-1は、京都市における昭和50年から平成17年までの配偶関係の推移を表したものです。15歳以上人口の配偶関係を男女別にみますと、男性は総数に対する未婚の構成比が昭和50年では35.9%で、30年後の平成17年は36.0%とほぼ横ばいなのに対して、女性の未婚構成比は26.5%から29.9%に増加しています。また、離別の構成比は、昭和50年では男性が1.1%だったのが、平成17年では3.4%に増加し、同じく女性は2.7%から5.9%に増加しています。

こうした状況に伴い、有配偶の構成比は男性が60.5%（昭和50年）から55.2%（平成17年）に、女性も57.4%（昭和50年）から49.4%（平成17年）に減少しています。

表-1 配偶関係（4区分），男女別15歳以上人口の推移

調査年	男					女				
	総数(注)	未婚	有配偶	死別	離別	総数(注)	未婚	有配偶	死別	離別
<実数(人)>										
昭和50年	556,086	199,388	336,555	13,738	6,021	587,785	155,736	337,558	77,988	16,139
55年	562,573	197,635	341,659	13,473	7,709	600,378	157,426	343,101	77,905	19,039
60年	575,976	205,966	343,675	14,121	9,948	619,772	168,386	344,593	81,896	22,950
平成2年	585,086	211,190	338,865	13,460	11,090	637,579	183,315	339,492	78,837	24,178
7年	598,256	222,724	339,838	13,916	13,519	655,772	196,775	340,111	82,403	28,261
12年	600,950	217,259	338,982	14,447	16,559	667,522	198,560	339,095	81,422	33,064
17年	605,007	217,783	334,085	15,127	20,855	678,366	202,656	334,882	83,064	39,854
<構成比(%)>										
昭和50年	100.0	35.9	60.5	2.5	1.1	100.0	26.5	57.4	13.3	2.7
55年	100.0	35.1	60.7	2.4	1.4	100.0	26.2	57.1	13.0	3.2
60年	100.0	35.8	59.7	2.5	1.7	100.0	27.2	55.6	13.2	3.7
平成2年	100.0	36.1	57.9	2.3	1.9	100.0	28.8	53.2	12.4	3.8
7年	100.0	37.2	56.8	2.3	2.3	100.0	30.0	51.9	12.6	4.3
12年	100.0	36.2	56.4	2.4	2.8	100.0	29.7	50.8	12.2	5.0
17年	100.0	36.0	55.2	2.5	3.4	100.0	29.9	49.4	12.2	5.9

(注) 総数には配偶関係不詳を含んでいます。

2 年齢別にみる配偶関係

表-2は、京都市の男女別年齢5歳階級別の各配偶関係の占める割合（平成17年国勢調査結果）を表したものです。この表によると、有配偶率は男性では70～74歳代、女性では50～54歳代で最も高くなっています。これらの年代以上になると、配偶者との死別の率が増加し、有配偶率が低下していく傾向があります。また、男性は配偶者との死別率は2.5%であるのに対し、女性においては、配偶者との死別率は男性の5倍近い12.2%に上ります。これは、女性のほうが男性より平均寿命が長いことや、夫婦間では男性の方が女性より高齢である場合が多いことによるものと考えられます。

2010 国勢調査

国勢調査は みんなで描く 日本の自画像
(平成22年国勢調査標本)

平成22年10月1日、国勢調査を実施します！

- 国勢調査は、日本に住んでいるすべての人及び世帯が対象です。
- 平成22年国勢調査は、我が国が本格的な人口減少社会となって実施する最初の国勢調査で、日本の未来を考えるために欠くことのできない最新の人口・世帯の実態を明らかにする重要な調査です。
- 調査結果は、さまざまな法令で使われるほか、社会福祉、雇用対策、生活環境の整備など、私たちの暮らしのために役立てられます。

国勢調査についての情報は、「京都市の統計情報 (Statistics Kyoto City)」のトップページからご覧いただけます。
<http://www.city.kyoto.jp/sogo/toukei/>

京都市の配偶関係別割合は？

～平成17年国勢調査結果から～

	未婚	有配偶	死別	離別
<京都市>				
男	36.0	55.2	2.5	3.4
女	29.9	49.4	12.2	5.9
<全国>				
男	31.4	60.8	2.9	3.3
女	23.2	57.0	13.5	5.2

〔15歳以上の人口（配偶関係不詳を含む）〕
男 53,085,562 女 56,678,857

表－2 年齢5歳階級別配偶関係構成比（平成17年国勢調査）

年齢	男				女			
	未婚	有配偶	死別	離別	未婚	有配偶	死別	離別
総数（注）	36.0	55.2	2.5	3.4	29.9	49.4	12.2	5.9
15-19歳	99.6	0.4	0.0	0.0	99.3	0.6	0.0	0.0
20-24歳	96.7	3.1	0.0	0.2	94.2	5.2	0.0	0.4
25-29歳	77.0	22.2	0.0	0.8	68.0	29.8	0.0	1.9
30-34歳	50.5	47.4	0.1	2.0	39.2	55.6	0.2	4.6
35-39歳	30.3	60.8	0.1	3.6	23.7	65.6	0.4	7.2
40-44歳	21.9	68.7	0.3	5.0	16.5	70.5	1.0	9.5
45-49歳	16.7	73.6	0.5	5.6	11.8	74.2	1.9	9.9
50-54歳	15.0	74.1	1.0	6.0	9.3	74.9	3.5	10.1
55-59歳	11.7	76.4	1.8	6.4	8.3	73.6	5.9	9.9
60-64歳	6.2	81.0	3.0	6.0	6.6	70.6	11.3	8.7
65-69歳	3.9	82.33	4.9	5.0	6.1	64.8	18.8	6.9
70-74歳	2.9	82.34	6.9	3.8	6.8	54.6	29.0	5.5
75-79歳	2.1	79.3	11.1	2.6	7.5	40.0	42.5	5.0
80-84歳	1.5	73.0	16.9	1.9	5.6	22.3	60.3	4.4
85歳以上	0.9	59.6	29.3	1.0	3.0	7.3	75.0	2.5
（再掲）65歳以上	2.8	79.0	9.9	3.5	6.0	42.2	40.8	5.1

（注）配偶関係不詳があるため、各項目の構成比を合計しても100にならない場合があります。

3 25歳から39歳までの未婚率の推移

少子化の進展で注目される25歳から39歳までの未婚の総数に占める構成比（未婚率）についてみると、この年代では未婚率が男女とも上昇していることがわかります。まず、25歳から29歳までの階級の未婚率をみますと、特に女性の未婚率上昇が大きく、昭和50年では29.4%であったのが、平成17年には68.0%にまで上昇しています。30歳から34歳までの階級では、男性の未婚率が平成50年では17.4%だったのが、平成17年には50%を超えています。35歳から39歳までの階級では、昭和50年と平成17年を比較すると、男性は7.5%から30.3%に、女性は8.8%から23.7%と大幅に上昇しており、この階級の男性の約3人に1人、女性の約4人に1人が未婚者であるという結果となっています（表－3及び図－1参照）。

また、25歳から39歳までの世代全体の未婚率は、昭和50年では男性30.9%、女性18.1%であったのが、平成17年には男性52.9%、女性43.9%に上昇しています（表－3参照）。

表－3 25～39歳の男女別未婚率

調査年	25～29歳			30～34歳			35～39歳			25～39歳 未婚率(%)
	総数（注）	未婚	未婚率(%)	総数（注）	未婚	未婚率(%)	総数（注）	未婚	未婚率(%)	
	男									
昭和50年	77,441	43,614	56.3	58,645	10,229	17.4	50,265	3,783	7.5	30.9
55年	55,844	34,229	61.3	68,327	18,214	26.7	54,392	5,546	10.2	32.5
60年	48,540	31,070	64.0	49,712	15,732	31.6	64,045	11,112	17.4	35.7
平成2年	50,699	33,554	66.2	42,567	14,295	33.6	45,202	9,348	20.7	41.3
7年	55,516	38,585	69.5	46,801	17,995	38.5	39,920	9,180	23.0	46.2
12年	60,806	44,406	73.0	51,182	22,763	44.5	44,012	11,003	25.0	50.1
17年	51,768	39,842	77.0	56,500	28,517	50.5	48,864	14,790	30.3	52.9
	女									
昭和50年	74,819	21,960	29.4	60,320	7,290	12.1	52,028	4,604	8.8	18.1
55年	54,134	16,883	31.2	68,309	9,938	14.5	57,345	5,176	9.0	17.8
60年	47,471	17,631	37.1	50,258	7,742	15.4	65,500	7,152	10.9	19.9
平成2年	51,403	24,113	46.9	42,738	7,924	18.5	46,859	5,354	11.4	26.5
7年	56,230	30,792	54.8	47,632	12,241	25.7	40,537	5,846	14.4	33.8
12年	62,558	38,225	61.1	52,573	17,282	32.9	45,739	8,257	18.1	39.6
17年	53,280	36,255	68.0	58,611	22,995	39.2	50,469	11,950	23.7	43.9

（注）総数には配偶関係不詳を含んでいます。

図－1 25～39歳の未婚率の推移

